

19 ぎふの木で学校まるごと木製品導入事業

(R3実績額:14,848千円/R3予算額:15,300千円(うち800千円は9月補正))

事業概要 学校等の木製机・椅子等の導入の支援

担当課 林政部 県産材流通課

1 事業の目的

- ・公共建築物等木材利用促進法に基づき、公共施設等における県産材利用をより一層促進するとともに、木材利用や環境保全に対する理解を深めるため、特に啓発効果の高い教育関連施設等に木製の机、椅子等の木製品導入を促進します。

2 事業の内容

- ・保育園や小中学校等で使用する木製の机、椅子等の導入に対し支援します。
 - 補助対象者：市町村、学校法人、社会福祉法人 等
 - 補助率：1/2以内（机・椅子については補助金の上限額18千円/セット）
（※常設版木育ひろばの認定を受け、当該事業により木製品（家具等）を購入する場合は10/10以内。上限400千円/施設）

3 目標値と実績値

項目	目標値の考え方	R3年度 実績値/計画値	R3年度までの実績値 /5年間の目標値
導入製品数	教育関連施設への 木製品導入数	985セット・個 /1,200セット・個	6,607セット・個 /6,000セット・個

4 事業担当課における自己評価

- 補助実績は26施設、導入木製品数985個となりました。第2期の実績としては、計画値6,000個に対し実績6,607個(110%)の木製備品導入に対し支援を行いました。
- 令和3年度は導入製品数は計画値を下回りましたが、机・椅子だけでなくロッカー、棚、下足入れなどさまざまな木製品導入を支援でき、幅広く木材を利用できることをPRできました。
- 今後は、新たな事業実施主体を掘り起こし導入施設数を確保するため、以下の2点を実施します。
 - ・第1期から第2期の10年間で、当補助事業の支援を受けた施設は県内の教育施設（幼稚園や小中学校）全体数のうち2割と少ないため、まだ当補助事業を活用していない施設や活用の少ない市町村を対象とした普及啓発を行います。
 - ・「ぎふ木造建築ポータルサイト（令和4年6月開設）」において、当補助事業を活用して導入した備品の事例や、県産材を用いた備品を製作する事業者を紹介します。
- 今後も教育施設で木製品のニーズは大きいと見込まれるため、引き続き事業を実施し、利用者の木材利用や環境保全に対する理解を深めていきます。

5 事業評価審議会における第三者評価

- 概ね効果的に実施・執行されている。
 - ・利用者と机のサイズの関係等に留意して、引き続き着実な事業の推進を望む。

6 令和3年度事業の実施状況

①事業整備内訳

26施設において985セット・個の木製机・椅子等の導入が進みました。

施設所在市町村	事業主体	導入施設名称	導入製品	導入数量(セット・個)	森林・環境税(千円)
各務原市	(学)小島学園	ひよし幼稚園	収納棚 上着掛け ロッカー 下足入れ	30	3,080
笠松町	笠松町	下羽栗小学校	ロッカー・掃除道具入れ	4	2,156
海津市	(社福)八実会	認定こども園石山保育園	収納棚 書棚 絵本立て	13	840
揖斐川町	揖斐川町	揖斐川町小島コミュニティセンター	おもちゃ整理棚 園児用テーブル	2	374
関市	関市	安桜小学校ほか13小学校	児童用机(天板)	750	5,775
美濃加茂市	美濃加茂市	山之上小学校 三和小学校 伊深小学校	児童用机(天板)	80	180
富加町	富加町	子育て支援拠点施設「すくすく」	絵本棚 ロッカー パーテーション	3	400
中津川市	(社福)恵峰会	めぐみ保育園	下足入れ	3	209
高山市	高山市	東小学校 花里小学校 日枝中学校	木製机・椅子	100	1,800
合計		26施設		985	14,814

(その他事務費 34千円)



ひよし幼稚園(各務原市)



めぐみ保育園(中津川市)

②利用者の声

調査先：令和2年度にぎふの木で学校まるごと木製品導入事業を実施した補助事業者

調査方法：アンケート形式

調査期間：令和4年1月～令和4年2月

調査結果：利用者の方の評判、ご意見

- ・生徒が机に愛着を持つようになった。
- ・園児は木の名前に興味を持ったり、種類によって手触りが違うことにも気が付くことができた。